

社会課題に向き合い

人間関係学科、初の卒業発表会

2/9
2025

東北文教大



4年間の学びの集大成を披露した卒業研究発表会
＝山形市・東北文教大

山形

東北文教大
人間関係学科4年

生の卒業研究発表会が5日、山形市の同大で開かれた。グローバルコミュニケーション、心理総合、福祉

マネジメントの3コースの学生計44人が、社会課題に向き合った研究内容を披露した。

同学科は2021年に開設され、今年3月に初めて

の卒業生を輩出する。他者理解について学んできた学生たちは▽多様性の尊重▽発達障害に対する理解を深めるための教育の必要性▽オンラインゲームにおける友人関係の形成―といった時勢も意識した研究テーマに取り組んだ。

福祉マネジメントコースの伊藤涼々夏さん(22)＝寒河江市＝は家族が認知症になった経験をきっかけに、認知症高齢者を介護する家族の受容プロセスについて研究した。受け身ではなく認知症について学ぼうとする意識が大切だとした上で「家族内外のチームワークが介護者の支えとなる」と発表した。

(瀬野麻衣)